

宛先



ニューズレター

低平地研究会 (LORA), 国際低平地研究協会 (IALT)

No. 76

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/lora/index.html>

<http://www.ilt.saga-u.ac.jp/ialt/index.html>

平成26(2014)年3月25日

経済専門部会 活動報告

平成25年12月15日(日)13時から、大川市の「ふれあいの家」で「筑後川に関する研究会」を開催しました。「筑後川の自然とは何か～鮎と鰻～」というテーマに沿って、清野聡子准教授(九州大学大学院工学研究院)には「筑後川の自然の恵みを見直す流域再開発を」と題して、望岡典隆准教授(九州大学大学院農学研究院)には「筑後川と鰻」と題して、鐘ヶ江社中氏(日本民謡会)ならびに大矢野栄次経済専門部会長(久留米大学比較文化研究所・所長)には「筑後川の歴史と社会」と題して講演していただきました。たいへん多くの方にご参加いただき、講演者との間で多くの質疑が交わされ、盛況の内に研究会を締めることができました。



写真や動画を交えながらわかりやすくお話をしていただきました。また、これまで培った大会運営のノウハウを踏まえたうえで、熱気球の世界最大のイベントである「世界選手権」の誘致に向けて、「柔軟な発想と情熱が大切」との思いを語っていただきました。

参加者の感想は、佐賀の誇るべき文化となったバルーンフェスタに関する歴史やスタッフのこれまでの情熱を聞くことができ、たいへん有意義であったという声が多数を占めました。



公演中の町田耕造氏



講演会の様子

暮らしと文化専門部会 活動報告

平成26年1月24日(金)にほほえみ館において、株式会社ジャパンバルーンサービス代表取締役の町田耕造氏をお招きし、「低平地佐賀と熱気球」と題して講演会を行いました。

講演会では、今ではすっかり佐賀の秋の風物詩として定着している「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」について、開催にいたる経緯や初期の状況、大会の企画や運営における苦労や喜びなどについて、

国際低平地研究協会 (IALT) 運営委員会開催

国際低平地研究協会 (IALT) の運営委員会が1月31日(金)に開催されました。マダブ会長をはじめ、ウィナイ、クマール、サマン各委員とともに佐大の委員が参加し、会計、活動、会員、ジャーナル、ISLT2014について活発な議論がなされ、会員増強、論文数と質の増強、9月開催のシンポジウムについて建設的な意見が出されました。



運営委員の集合写真

低平地研究に関する豆知識 -その13-

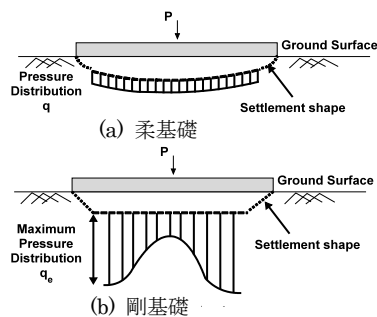
軟弱地盤上の基礎

基礎とは建物や橋梁などの社会基盤を地面に接続する構造要素のことをいい、それらの荷重を安全に地盤へ伝達するための構造物です。フーチングも基礎の一つであり、小さなスラブで構成されるものです。

基礎の種類は社会基盤の種類や設置条件に応じて変わり、基礎の深さや剛柔によって分類されます。支持力とは、基礎を伝わる上部荷重で地盤の破壊や過度の沈下を生じさせない地耐力のことをいいます。地盤の強度が高い場合は浅い基礎で充分であり、より経済的になります。一方、荷重が大きく地盤が耐えられない、または地盤が軟弱な場合には、十分な強度を持つ地層まで深い基礎を設置することで荷重を伝達します。また、地盤が軟弱な場合には、柔基礎を用いることで荷重を分散させることができます。

佐賀低平地には基礎と地盤の間に圧縮性の高い有明粘土層が存在します。この粘土層は非常に軟弱なため、载荷されると変形が平衡に達するまで、周囲の構造物や農地に損傷をもたらします。したがって、佐賀低平地に構造物を設置する際には、安定性を確保できる適切な基礎を選定する必要があります。

(佐賀大学低平地沿岸海域研究センター センター講師 Suman Manandhar)



軟弱地盤上の荷重の分散

スタッフの着任報告

平成25年10月1日(火)付で長濱祐美博士がセンター講師として着任されました。

前任地は、北海道大学・高等教育推進機構の科学技術コミュニケーション教育研究部門において博士研究員として活躍されていました。ご専門は環境工学で、任期中は河川汽水域での生息場調査や河川生態系評価について取り組んでいただきます。また、センターの業務とともに、研究会の強力なサポートもお願いしています。



会員 特別会員

動向 小野田ケミコ株式会社

弊社は、地盤改良工の施工会社として創立30周年を迎えました。これまでに佐賀平野において、河川・道路・港湾事業などに参画してきましたが、弊社の果たすべき役割は、まだまだ多く山積されています。このため、当社保有の地盤改良技術「LDis」や「SJMM」など、専門業者としてのノウハウを様々な社会基盤整備事業に対して技術提案を行い活用してもらうことにより、更なる地域貢献に努めてまいります。



早津江川における新設樋管構築のためのLDis工法施工状況

低平地研究会

特別講演会・活動報告会のご案内

平成26年4月17日(木)に平成25年度低平地研究会特別講演会ならびに活動報告会を開催します。

特別講演会では野田利弘氏(名古屋大学減災連携研究センター教授)をお招きし、「南海トラフ地震に対する濃尾平野の地盤工学的課題と研究事例紹介～東日本大震災の地盤災害を踏まえて～」と題して講演いただきます。その後、各専門部会長による活動報告会が行われます。皆様のご参加をお待ちしています。

日時:平成26年4月17日(木) 13:00~17:00

場所:佐賀大学理工学部6号館DC棟(2階)

多目的セミナー室

第9回低平地に関する国際シンポジウム

ISLT2014の開催

国際低平地研究協会(IALT)が主催する第9回低平地に関する国際シンポジウム(ISLT2014)が、平成26年9月29日(月)から10月1日(水)に佐賀大学で開催されますので、ご案内します。

佐賀大学での開催は4年ぶりです。本シンポジウムの言語は英語ですが、海外の研究トピックに関して会員の皆様にもご理解いただけますよう、基調講演やテクニカルツアーを企画しますので、ご参加をお待ちしています。

編集後記

3月に実施した実習では、花粉症ではない学生にも充血やくしゃみの症状が出ていました。黄砂の影響があると思いますので、皆様もお気をつけください。

編集担当:三島、江頭、日野(佐大:mishima@ilt.saga-u.ac.jp)